

十和田湖・奥入瀬スケッチマップ 5. 焼山・鳶エリア

Lake Towada and Oirase Sketch Map



きょうかさいしげ

8 旧笠石家住宅・十和田湖民俗資料館

旧笠石家住宅は、18世紀後半(江戸時代後期)に建築されたと推定される、この地域の典型的な農家の住宅です。古い建築様式が随所に使われていることから、国指定重要文化財となっており、修理・復元して一般に公開されています。また、隣接する十和田湖民俗資料館では、この地方の生活の移り変わりを知る上で貴重な民俗資料を多数展示しています。



お問い合わせ／十和田湖民俗資料館
TEL 0176-74-2547

ほうりょう 法量のイチヨウ

この先に、樹齢1,100年と言われる日本でも屈指のイチヨウの巨木があります。

長年「十和田湖温泉郷」という名前で親しまれてきましたが、2020年(令和2年)4月1日より「奥入瀬渓流温泉」と名称を変え、新しいスタートを切りました！
およそ12km離れた猿倉温泉から引いた源泉を楽しめるほか、奥入瀬渓流や鳶沼に近いうえ、十和田市内へも車で約30分とアクセスが良いため、十和田湖・奥入瀬エリア観光の拠点に適しています。

つたななめま 鳶七沼と 鳶野鳥の森

鳶温泉を取り囲む深いブナの森には、「鳶七沼」と呼ばれる大小7つの沼があり、そのうちの赤沼を除く6つの沼をめぐる自然散策路が整備されています。散策路周辺の森は「鳶野鳥の森」と呼ばれ、様々な野鳥の宝庫となっており、鳥のさえずりを聞きながら、豊かな自然の中を散策することができます。
7つの沼の中で最も大きな鳶沼は、鳶温泉から徒歩10分ほどのところにあり、秋の紅葉シーズンの燃えるような朝焼けの美しさが特に有名です。
また、鳶温泉から北西に約3km離れた森の中にある赤沼は隠れた名所。赤倉岳を背景に、沼を取り囲むように生い茂ったブナの自然林が、透明度の高い水面に映る姿は圧巻です。
道が分かりづらいので、地元ガイドと一緒にいくのがおすすめです。



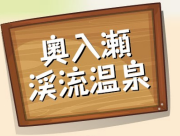
6 奥入瀬渓流温泉スキー場

ゲレンデのすぐ下に奥入瀬渓流温泉があり、温泉とセットで楽しめるスキー場です。傾斜の緩いコースがあるほか、スキーやウェアのレンタル、スキースクールなども充実しており、家族連れや初心者にもお薦めです。ゲレンデからは素晴らしい八甲田連峰が望めるほか、5月末から6月上旬頃にゲレンデを覆う、幅30メートル長さ260mの芝桜も見どころです。

7 八甲田パノラマパークゴルフ場

奥入瀬渓流温泉スキー場のゲレンデ中腹に位置し、その名前のおとおり美しい八甲田連峰を眺めながら爽快にプレーできるパークゴルフ場です。用具の貸し出しも行っていきます。

お問い合わせ／(一財)十和田湖ふるさと活性化公社
TEL 0176-72-3201



奥入瀬 奥入瀬川
奥入瀬渓流(奥入瀬川)
奥入瀬水館
奥入瀬渓流館
奥入瀬グリーンホテル
奥入瀬温泉 灯と楓・鳶鳥バル 薪nina
奥入瀬流温泉スキー場(説明6)
奥入瀬 市民の家
奥入瀬 洗心荘
奥入瀬 遊魚荘
奥入瀬 温泉民宿 南部屋
奥入瀬 立石ダム
奥入瀬 サークルマート クズマキ
奥入瀬 食堂 上高地
奥入瀬 野の花 焼山荘
奥入瀬 市民の家
奥入瀬 洗心荘
奥入瀬 遊魚荘
奥入瀬 温泉民宿 南部屋
奥入瀬 立石ダム
奥入瀬 サークルマート クズマキ
奥入瀬 食堂 上高地
奥入瀬 野の花 焼山荘

八甲田 エリア ミニマップ
八甲田 雪の回廊(説明1)
八甲田 ホテル
酸ヶ湯温泉
谷地温泉(説明3)
元湯 猿倉温泉(説明2)
赤沼
八甲田山
青森市
弘前市
あか 赤沼

1 八甲田 雪の回廊

国道103号線、青森市と十和田湖を結ぶ通称「八甲田・十和田ゴールドライン」のうち、酸ヶ湯温泉・八甲田ホテルから谷地温泉までの区間は冬季に閉鎖されますが、毎年3月に除雪し、4月1日に開通します。除雪によって姿を現す雪の壁は最大で高さ10mほどにもなり、道路の両側にそり立つ姿は圧巻です。

2 元湯 猿倉温泉

奥入瀬渓流温泉の源泉(元湯)です。その昔、猿が湯に浸かっていたのを猟師が発見したのが始まりとされています。露天風呂からは、八甲田の自然を間近に体感できます。

3 谷地温泉

約400年の歴史を持ち、日本三大秘湯の一つに数えられる温泉宿。湯船の底の隙間から湧く、高温で白濁した湯と低温で透明な湯の2種類が楽しめます。

4 鳶温泉

約千年の歴史を誇り、大町桂月がこよなく愛した秘湯。ヒバ造の浴槽の下から源泉がぶくぶくと湧き出しています。館内には食事処鳶があり、散策の際の昼食に便利です。

鳶温泉周辺散策路
沼めぐりの小路
(全長2.9km・約90分)
野鳥の小路
(全長0.9km・約30分)

5 大町桂月資料館

鳶温泉内には大町桂月の足跡や生涯を知ることができる資料館があり、宿泊者、日帰り入浴者は無料で見学できます。

十和田の魅力に世に広めた功労者～大町桂月～

大町桂月は高知県出身の文人で明治41年(1908年)に初めて十和田湖を訪れました。十和田湖の雄大な佇まいに魅せられた桂月は、その魅力を雑誌「太陽」に紀行文として発表し、これがきっかけで十和田が世に知られるようになりました。
また、十和田湖の国立公園への指定を要望する際には請願文を起草し、大きな影響を与えました。桂月は10回ほど青森県に来ていますが、特に鳶温泉をこよなく愛して何度も滞在したほか、晩年には本籍を鳶に移し、この地で永眠しました。桂月の墓は、近くの森の中にひっそりと建っています。

現地ガイド

十和田湖や奥入瀬渓流とはまた違った鳶の魅力ガイドと一緒に楽しんでみませんか？

Map凡例
● カフェ・喫茶 ● 無料Wifi ● 電気自動車充電スタンド ● レンタサイクル
● 観光案内所 ● 売店・お土産 ● コインロッカー ● 展望台・展望所
● 宿泊施設 ● トイレ ● 遊覧船・ボート ● 休憩所 ● 温泉(日帰り入浴可)
● レストラン・食堂 ● 多目的トイレ ● ガソリンスタンド ● 見どころ・名所 ● バス停

